

A 宿泊施設としては、長期滞在に対応した幌延の風土や暮らしを体験することのできる移住促進住宅が幌延にも問寒別にもある。PRが足りないのかとも思う。新規就農の受け入れについては、宿泊先の整理なども含め、進めていかなくては駄目だという思いはある。

Q 送電網の工事は来年5月ぐらいまでに工事が完了することのだが、工事の遅れとかはないのか。

A 遅れは出ていないと確認している。線を張る作業が今秋で終わりになるので、滞在人員のピークは超えたと聞いている。

Q インフルエンザの予約が取りづらい。予約を重複させないためにいろいろチェックしているからだとは思いますが、予約を受ける電話、人員を増やせないのか。

A 今回のインフルエンザワクチンについては、数量

限定ということもあって、多数で受け付けて順番が違うということになると都合が出てくるので、このような形になったと思う。改善の余地があれば改善に向けて検討したい。

Q 昨年のインフルエンザワクチンの時に、指定時間の2〜3分前に診療所へ行ったら、外で待つように言われた。11月だと雪の降る日もある。相手と状況を見て対応してほしい。

A 気持ちは分かるが、時間を守っていただきたい。しかし、雨が降っている時に外で待たずとかということについては、考えていかなくはないと思う。

Q コロナワクチンの3回目はあるのか。

A 国から3回目に向けた準備をするようにという通達は来ている。2回目接種後8カ月ぐらいを目途にということなので、幌延の場合、65歳以上の2回目接種

が6月に終わっているのですが、2月以降になると思う。まだ具体的には何も決まっていない。

Q JRについて、現在2駅が廃止になって、残り6駅の内幌延駅を除く5駅の維持管理を町で負担していると思うが、どのくらいの負担なのか。今後の維持管理の考え方は。

A 今までの負担については、話しはあったが実際は負担していない。今年度から経費が発生していて、1駅100万円ぐらいだと思う。来年度以降もまだこのかたちでやっていくと思う。作業を手伝ってくれる人も確保しているのですが、JRの指導を受けながらやっていきたい。

Q 今後、JRの減便という可能性はあるのか。

A コロナ対策で、今は相当間引きして運行しているが、11月以降少しずつ元に戻ると思う。このまま減便

が常態化するとは聞いていない。

Q 診療所の医療体制を整備するということが、具体的に何を整備するのか。

A 感染症の診察室（発熱外来）を設ける。医療機器の更新でCTの入替えと専用の胸部レントゲンの設置を行う。また、救急玄関を作り、救急患者がストレートに処置室に入れるようにする。11月頃から使えるようになる予定。

Q バイオマスはどうなっているのか。

A コロナの影響もあって思うように進んでいない。元々ここは送電網の関係で高電圧売電が出来ない状況だったが、送電網の空きスペースを活用した売電が出来るようになって、集中型プラントを検討できるといふ話に変わってきたので、近況の説明やご意見を聞く場を設けて調査を進めていくことになると思う。

十月定例俳句会作品
幌延ほおずき俳句会

<p>遅^{たぐ}ましき牧の若牛秋の声</p> <p>何^う処より旨^{うま}し風くる秋の声</p> <p>耳鳴りに邪魔されつつも秋の声</p> <p>静かなる大地を行くや秋の声</p> <p>秋の声浅^もるるや乳牛感謝の碑</p>	<p style="text-align: right;">横山 貞雄</p> <p style="text-align: right;">田中 順子</p> <p style="text-align: right;">富樫とも子</p> <p style="text-align: right;">小玉 利治</p> <p style="text-align: right;">田中 徹男</p>
--	---